

無垢直貼防音フローリング 木床(モクユカ)

施工上の注意点(施工前に必ずお読みください)

天然無垢製品は、大気中や床下からの湿度の影響により、本来持っている湿度の吸排作用によって伸縮する性質を持っています。十分に換気を行い、保管、施工時は下記注意事項をよくお読みください。

1. 施工前に確認

- 天然木のため一枚一枚異なります。貼り始める前に仮並べをし、色、柄のバランスをとって全体の品質をご確認頂いた上で施工してください。
- 極端に色、柄などおかしいもの、その他お気づきの点があれば、貼る前にご相談ください。
- 湿度の高い場所、水のかかりやすい場所、直射日光が当たる場所には保管しないでください。

2. 下地の確認

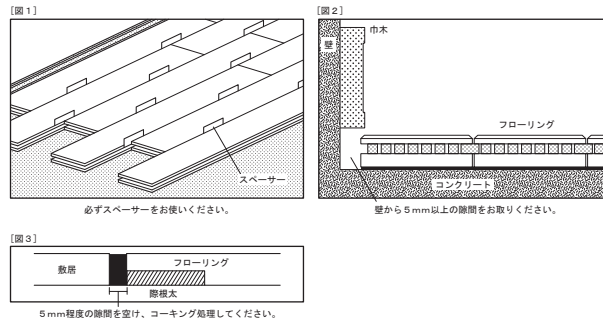
- 無垢材は水分によって伸縮します。下地モルタルの含水率が10%以下に乾燥している事をご確認ください。
- 下地に凹凸(不陸)があると製品と下地の間に隙間が発生します。不陸は平らに調整し、部分的な凹凸は必ず事前に補修してください。

3. 貼り込み

- 下地面を清掃してください。ごみやほこりがあると接着不良の原因となります。
- 施工場所の気温が低い場合（5℃以下）は、接着不良の原因となりますので施工を差し控えてください。
- 接着剤は、セレクトィUR-145（木質防音床材施工用）をお使いください。
クシ目ゴテを用いて、塗布量は500～600g/m²（40m²/20kg）を目安に塗布してください。
- 接着剤が床材表面に付着した場合は接着剤硬化前にウェスでふき取ってください。
- 玄関框、掃き出し窓、敷居、床見切り、ドア杢摺りなどの部位、突き付け部には、必ず際根太を使用してください。際根太は浮きが無いように接着剤でしっかりと固定してください。
- 際根太を使用するときは、フロア裏面の防音材をカッターナイフで切除してください。

注)*突き上げ防止のために必ず守ってください！

- 必ず同梱包の「スペーサー」を使って、フローリングどうしの間クリアランスを取ってください。（図1）
壁際には必ず5mm以上の隙間を空け、巾木で隙間を隠してください。（図2）
掃き出し窓や敷居納めの場合は必ず5mm程度の隙間を空け、コーキング処理してください。（図3）



4. 養生

- 養生前にゴミをきれいに取り除き、通気性の良い養生シートで表面を保護してください。
- 養生テープは直接フローリングに貼らないでください。
- 施工後は十分に換気を行ってください。締め切ったままの状態ですと室内の温度が上がると、フロアの伸びや突き上げの原因となります。